

白浜レスキューネットワーク通信 5月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

5月1日～5月30日

電話件数 67件

保護件数 9件(男性6人、女性3人)

○3日夜、先月の終わりからお給料を手にしたまま行方が分からなくなっていた男性が帰って来た。所持金はほとんどない状態だった。それまでの経緯を聞き、再度やり直すことに。今までとはまた違った関わり方が必要だろう。

○4日、親子を保護した。

○10日、男性を保護した。

○10日夜、40代の男性を保護した。

○18日夜、10代の女性が「死にたい」と叫んでいると親からの相談電話があり、理事長が女性に会いに行った。話を聞く中で落ち着いた。継続的に連絡を取るようになった。

○19日、親子が相談に来られた。

○20日、男性を保護。

○20日夜、30代の男性を保護した。借金の問題を抱えており、家を飛び出して車で移動していたが、車が故障し隣の市の行政に相談したところ、担当者が当NPOに繋いだ。

生活自立支援活動

5月1日～5月31日

滞在者数 12人(男性10人、女性2人)

自立1人(男性1名)

自主退所0人

○4日、3日に帰って来た男性が、理事長と一緒に職場に謝罪に行った。正社員としての話は白紙に戻り、再びバイトとして再スタートさせてくれることになった。一度崩れてしまった信頼を取り戻せるよう努力してほしいと願う。

○11日、いつも食事の用意を率先してやって

くれている70代の男性が、他の共同生活者からの些細な言葉に怒って部屋に戻ってしまった。本人はすぐに頭を冷やして戻ってきた。自分が怒らせてしまったと自覚のあった男性もすぐに謝りに行った。ごはんの準備や片づけはいつもその男性がやっており、負担がかかっていた事実がわかり、もう一度協力し合って生活がしていくことを一人一人が確認する時間を持った。

○23日、まちなかキッチンで働いている30代の男性が自動車学校に通い始めた。夕方までお店の番をし、夕方から夜の時間に通っている。
 ○25日、今月20日に保護された男性が隣の短期の梅採りの仕事に行き始めた。お弁当を用意し、朝5時過ぎに出発している。他の共同生活者との関係も良好だ。

○27日、まちなかキッチンの仕込みを担当している40代の男性が、作業中に体調を崩した。てんかんを持っていることがわかり、今後、体調を崩さないように働けるよう、働き方を調整した。

○30日、昨年9月に共同生活に加わり、先月耳の手術を受けた男性が、大阪の新聞配達の仕事に就くため、自立した。

○30日、先月から就職活動をしていた50代の男性が、県内の旅館での住み込みの仕事に採用が決まった。自立に向けての準備を整え、来月自立する予定だ。

○今月10日に保護した男性は、農業に意欲的に取り組んでいる。来た時よりも日焼けし、農業に関することを他の共同生活者と話し合う様子がよく見られている。

○近くのアパートに住みながら、まちなかキッチンの洗い物を手伝ってくれている70代の男

性が、作業の途中でめまいがしたり、心臓が痛むことがあった。本人と相談しつつ、無理のない範囲で手伝ってもらうことにしている。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

弁当部門は、工事現場からの注文が減ったが、教育機関の研修等による特別弁当の注文もあり、なんとか目標数を達成し、キッチンで働くメンバーに特別手当を渡すことが出来た。惣菜部門は、先月とくらべると売上は落ちたが、お弁当を注文してくれている人が惣菜の類か詰め合わせ弁当もとってくれるなど、今月も新規の注文があった。

先月からスタートしたシェアハウスでの作業は、午前中に次の日の仕込み、午後は皿洗いとフル稼働している。午後の皿洗いには新しく一人加わり4人体制で行っている。だんだんとコツを掴んできたのか、始めた頃は17時ころまでかかっていた作業が、16時を切るまでになってきた。近隣との音の課題もあったが、幸い良好な関係を維持できている。

・放課後クラブ「コペルくん」

毎日平均8人の子が参加した。下旬ごろから、新1年生が新たに加わった。宿題を時間内に終わることができるよう、各自で目標タイムを設定させ、時間を意識させるように工夫したところ、だんだんと自主的に、「今日は15分で漢字を終わらせる！」など、時間を意識しながら宿題に取り組むようになった。勉強のわからない部分もどこがわからないのかをよく理解し、苦手克服、基礎学力の定着を図っていきたい。

・少年少女漂流隊

今年度も地元の小学校のクラブ活動の時間に、少年少女漂流隊を担当させていただくことになった。24日に今年度最初の少年少女漂流隊をおこなった。15人ちかくの6年生が参加した。みんなでペットボトルを使い、生クリームからバターを作った。ペットボトルに入れた生クリームが固まるまで、輪番でとにかく一生懸命振

り、最後はパンに塗りみんなで食べた。



少年少女漂流隊の様子

・フードバンク

白浜町内に住む2名の男性に弁当の無料配布を行った。

・相談電話

4日、11日、18日、25日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・実習受け入れ

・22日から27日、東京から女性が一名ボランティアに来た。